

平成 26 年度第 1 回遠野市総合計画審議会

一 議事概要 一

(開催要領)

- 1 日時 平成 26 年 5 月 15 日 (木) 午前 10 時～午前 11 時 55 分
- 2 場所 遠野市役所とびあ庁舎 大会議室
- 3 出席者

(1) 委員

会長	臼井 悦男	遠野市社会福祉協議会会長
副会長	荒田 良治	一般社団法人遠野市観光協会会長
委員	井手 純	遠野市消防団団長
委員	千葉 和	NPO法人遠野エコネット代表
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野 好宣	遠野市体育協会会長
委員	菊池 一晃	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会副委員長
委員	新田 忠一	花巻農業協同組合常務理事
委員	濱田平八郎	遠野地方森林組合代表理事組合長
委員	佐々木弘志	遠野市商工会会長
委員	三浦 一	一般社団法人遠野青年会議所理事長
委員	菊池 塔寿	遠野市校長会会長
委員	佐々木國允	遠野市郷土芸能協議会会長
委員	菅沼 隆子	一般財団法人遠野市教育文化振興財団副理事長
委員	内館 充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	海老 糸子	遠野市地域婦人団体協議会会長
委員	佐々木栄洋	公募
委員	鳥屋部恵児	公募
委員	菊池 広樹	公募
委員	高室 美鈴	公募
代理	菊池 修一	岩手県県南広域振興局経営企画部企画推進課長

(2) 遠野市

本田 敏秋	市長
菊池 孝二	副市長
藤澤 俊明	教育長
菊池 文正	経営企画部長
飛内 雅之	経営企画部まちづくり再生担当部長
菊池 保夫	総務部長
荻野 優	健康福祉部長
菊池 永菜	健康福祉部地域医療推進特命部長
鈴木 惣喜	産業振興部長
大里 政純	農林畜産部長
遊田 啓悦	環境整備部長
小向 孝子	遠野文化研究センター一部長
宮田 実	市民センター市民協働課長
多田 博子	宮守総合支所長
谷地 孝敏	消防長
菊池 幸市	子育て総合支援センター所長
佐藤 浩一	企画・秘書広報担当課長

鈴木 英呂 財政担当課長
千田 孝喜 まちづくり再生担当課長
澤村 一行 管理情報担当課長

4 欠席者

委員 千葉 純子 一般社団法人遠野市医師会副会長
委員 熊谷 義弘 遠野市PTA連合会会長
委員 菊池 浩彦 公募

(議事次第)

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員及び職員紹介
- 4 会長・副会長の互選
- 5 会長あいさつ
- 6 報告
 - (1) 平成 26 年度予算について
 - (2) 遠野市総合計画実施計画（平成 26、27 年度）の概要について
 - (3) 市役所本庁舎の整備方針について
 - (4) 遠野市六次産業推進本部、子育てするなら遠野推進本部の取り組みについて
 - (5) 遠野市新エネルギービジョンの策定について
- 7 協議
 - (1) 遠野市総合計画策定方針（案）について
（総合計画審議会の役割、策定方針、策定体制、策定スケジュール）
- 8 その他
- 9 閉会

(配付資料)

- 1 次第
- 2 平成 26 年度予算について（別紙資料 1）
- 3 遠野市総合計画実施計画（平成 26、27 年度）の概要について（別紙資料 2）
- 4 市役所本庁舎の整備方針について（別紙資料 3）
- 5 遠野市六次産業推進本部、子育てするなら遠野推進本部の取り組みについて（別紙資料 4）
- 6 遠野市新エネルギービジョンの策定について（別紙資料 5）

(議事概要)

1 開会

○菊池文正 経営企画部長

本日は、お忙しいところを遠野市総合計画審議会に御出席頂きまして、ありがとうございます。また、委員就任にあたりましては、御快諾を賜りまして、ありがとうございます。なお、委員各位の机の上に、すでに辞令書を置かせて頂いておりますので、ご了承を願います。

ただ今から、平成 26 年度第 1 回遠野市総合計画審議会を開会します。私は、経営企画部長の菊池と申します。よろしく願います。

初めに市長から挨拶を申し上げます。

2 市長あいさつ

○本田敏秋 遠野市長

おはようございます。今日は5月15日で、市内各地では田植えが真っ盛りという状況であり、今年も豊年であってほしい、そして、災害の無い26年度であってほしいと思っていますところでは。

昨日、宮古市田老の摂待地区で防潮林の植樹イベントが開催され、私は、県の緑化推進委員会の理事長の立場として参加しましたが、鳥取県や山口県で育てたコナラやクロマツの苗が、300本、600本と届いており、鳥取県からは森林愛護少年団の子供達、そして、平井知事も参加されていました。地元岩手県からも、知事以下、宮古市長さん、関係者の皆さんも出席されていました。津波により根こそぎ被害を受けた素晴らしいクロマツの防潮林が、果たして植樹の中でどのような形で蘇っていくのかと、非常に複雑な気持ちでした。その際、国道340号立丸峠を通りました。川井側の方では、トンネル工事の槌音が、現場で力強く響き渡っていました。これにより、遠野と宮古がトンネルという安心安全な形で繋がり、1時間という時間の中で遠野が位置付けられることとなります。さらには、釜石自動車道も予定より2年間前倒しで、平成30年までに全通することとなりました。釜石自動車道の全通の時期と国道340号の立丸峠のトンネル化が、ほぼ同時期に完成するということが目に見えてきました。このような状況の中で、遠野のまちづくり、地域づくりをどのような形で進めていくかということは、これは大変なことだということを改めて、車の中で思いながら戻って来たところでは。

私は、踊り場状態の中で、これまで取り組んできた遠野のまちづくり・地域づくり、また、官民一体という、遠野モデルとまで言わせしめた、この仕組みを、確実なものとしながら将来を見据えたまちづくりに取り組んでいかなければならないと職員には、言っています。そのための2年間として位置付けて良いだろうと思っています。現在の総合計画後期5カ年計画は、平成27年度が最終年度です。そのため、現在の総合計画をどのように総括し、その中で課題を浮き彫りにしながら、それを28年度からの次期総合計画前期5カ年計画、そして後期5カ年計画ということになれば、前期5カ年の29、30年度の2年間で高速インフラといったものが、釜石自動車道と立丸峠のトンネル化ということで、相次いで形になるわけでありまして、3年後を見据えた一つの課題に、それこそ3万市民が心を一つにして取り組むというシナリオを作っていかなければなりません。それを皆さまに、いろいろな形での立場の中からお願ひすることになるかと思ひますので、よろしく願ひします。

今年の4月に、2つの推進本部を庁内に立ち上げました。これは、官民一体という一つの取り組みの中から、まだまだ議論を必要としたのではないかと思ひているのですが、我々を取り巻く環境が、すごいスピードで加速している状況です。産業振興の中で、雇用の場をその中に見出しながら、人口減少にひとつの歯止めをかけなければなりません。一つの家庭、家族といったような単位を大事にしなが、ら、その中で家族が安心して生活ができ、子どもも一人ではなく二人を持とうとか、二人よりも三人兄弟が良いとか、そのような環境を作るには、やはり産業振興と子育てということに一つの柱が見えてくるのではないのかなと思ひ、一つは、六次産業推進本部を立ち上げました。実は、農水省では六次産業化という言葉を使っていますが、経産省では、同じ産業振興を行うにも農商工連携と言う言葉を使っています。これは、現場にすればどちらでも同じことですので、六次産業化という一つの言葉を使い、六次産業化推進本部の中から産業振興、雇用の場、更なる企業誘致を力強く進めていきたいと思ひています。また、

そこには、総合力という一つの市役所の縦の壁、組織の壁を打ち破るという一つの試みを、そこに持たせようと思っています。

それから「子育てするなら遠野」という取り組みの中で、「わらすっこ条例」、さらには「わらすっこ基金」、そして「わらすっこ支援委員会」を立ち上げて、模索し続けています。試行錯誤の連続であり、なかなか決め手というものをその中には見出せない状況にもあります。その中で、健康福祉の里、教育委員会、保育協会など様々な立場の方々が、それぞれの立場を尊重しあいながら、総合力で子育てするなら遠野という中において、出会いと結婚、そして出産を組み入れ、もう一方では、高齢化という中におけるシルバー世代の方々にも子育てに関わっていただくという仕組みを、その中に見出せないかということで、本部を立ち上げたところです。

六次産業化推進本部には副市長、そして子育てするなら遠野推進本部には教育長を本部長として一定の権限、責任を持つ仕組みを立ち上げました。しかし、1ヵ月半しか経っていないため、まだ見えていません。したがって、この2年間の中で、どのような成果が見出せるのか。それによっては、28年度を初年度とする次期総合計画に、明確に組織の位置づけをするという一つの前提の基に、組織を立ち上げたところですので、委員の皆さまにもご支援ご理解を頂ければと思っています。

市役所の組織としては、このような取り組みをしていますが、一方においては、民間の方々、市民サイドの動きが、ここ数年活発になって来ています。官民一体という言葉が、単なる言葉ではなく、はしご酒や駅前でのジンギスカンなどのイベント、そして被災地と向き合う、いろいろな形でのボランティア活動、さらには観光協会を中心とするおもてなしの動きにも見えています。明日は、JR東日本の盛岡支社長と面談することとしていますが、JR東日本からは、SL銀河に係わる遠野の取り組みには、本当に脱帽しましたと、もてなしの心で懸命に取り組んでいる皆さんに心から感謝を申し上げたいと、JR東日本の関係者の皆さまからお話が合ったと聞いています。私から見ても、やはり遠野の取り組みは、飛びぬけていたと思っています。

さらには、このような取り組みの中において、総合防災センターは、1万3千人を超える見学者の方々を迎え入れています。そういった中、3月市議会では、全会一致で防災基本条例を可決していただきました。そして、土砂崩れや洪水などの危険箇所を地図に落としした防災マップを全戸配布することができました。また、自主防災組織の動きも非常に活発になってきています。何にも代えがたい命を災害から守るためには、市民の皆さまが一人ひとり自覚していただく、対策をとっていただくことが大事であります。まもなくですが、防災基本条例の解説版を全戸配布することで準備を進めています。やはり、様々な課題に挑戦する気概の中から、遠野のまちづくりを進めていかなければならないと思っています。

先般の県の市町村振興協議会に出席してきましたが、話題は、先般の新聞報道の内容でした。かなりセンセーショナルな、あるいは少しヒステリックではないかと思っていますが、このまま地方からの人口流出が進めば、消滅する可能性のある市町村の数が800を超えるという記事が掲載されました。我が遠野市も、残る方でなく消える方に位置付けられています。40年50年後には、日本の人口が8千万台になるとなれば、今の中において、人口を維持することはかなり難しいと思います。首長同士で話をした際に、今の市町村の数、また市町村の名前でもって、あそこは消滅するここは消えるという議論は、果たしてどれほどの意味があるかという話になりました。人口減少をシュミレーションできるのであれば、もっと新たな仕組みを作っていく中で、一つの市民生活の安心安全というものを確保できている中における議論こそ大事なのであって、人口が減る、町が無くなる、市が無くなるという議論が、どこまで建設的な議論なのか分からないとなりました。しかし、一つの問題提起としてきちんと受け止めなければなりませんし、まだまだ我々市町村という現場にあっては、やらなければならないことが沢山あるのではないだろうか。やはり、それに向かって進むことしかないのではという形で話が終わりましたが、私は、このスタンスこそ極めて大事であると思っていますので、人口減少問題にも遠野のスタイル、遠野モデルの中から、果敢に挑戦するという一つのスタンスを貫いていきたいと考えていますので、皆さまの更なるご協力と御支援をお願い申し上げまして、少々長くなりましたが、冒頭にあたっての挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

3 委員紹介及び職員紹介

○菊池文正 経営企画部長

本日の出席委員の皆さまを紹介します。

遠野市消防団団長 井手委員
NPO法人遠野エコネット代表 千葉委員
遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長 菊地委員
遠野市体育協会会長 河野委員
遠野市社会福祉協議会会長 臼井委員
遠野市民生児童委員協議会会長 菊池委員
遠野市わらすっこ支援委員会副委員長 松田委員
花巻農業協同組合常務理事 新田委員
遠野地方森林組合代表理事組合長 濱田委員
遠野市観光協会会長 荒田委員
遠野商工会会長 佐々木委員
遠野青年会議所理事長 三浦委員
遠野市校長会会長 菊池委員
遠野市郷土芸能協議会会長 佐々木委員
遠野市教育文化振興財団副理事長 菅沼委員
遠野市区長連絡協議会会長 内館委員
遠野市地域婦人団体協議会会長 海老委員
岩手県南広域振興局経営企画部長 田村委員代理 菊池企画推進課長
公募による委員の皆さまです
佐々木委員
鳥屋部委員
菊池委員
高宏委員

菊池浩彦委員は、出席予定ですが、若干遅れている状況でございます。

以上、本日は 23 名の委員の方々に出席頂いています。なお、遠野医師会の千葉委員及び遠野市PTA連合会の熊谷委員は欠席となっております。

また、市の出席者につきましては、会議資料の 2 ページに記載していますので、紹介を省略させていただきます。

次に本日の配布資料について確認をさせていただきます。

- 1 次第、名簿、遠野市総合策定方針等の資料一式
- 2 平成 26 年度予算について（資料 N01）
「もっと知りたい遠野の予算」（冊子）
- 3 遠野市総合計画実施計画（平成 26、27 年度）の概要について（資料 N02）
- 4 市役所本庁舎の整備方針について（資料 N03）
- 5 六次産業の推進本部の取り組みについて（資料 N04-1）
- 6 子育てするなら遠野推進本部の取り組みについて（資料 N04-2）
- 7 遠野市新エネルギービジョンの策定について（資料 N05）

以上が本日の資料となっておりますので、ご確認願います。

続きまして、本日の会議日程について説明します。

この後、会長・副会長の互選を行います。その後、報告事項として、先程確認頂きました資料を中心に、順次 5 分ないし 10 分程度で説明します。その後、本日の協議事項である遠野市総合計画策定方針（案）について説明時間を 30 分程度、そして協議ということで進めさせていただきます。なお、終了時刻は、午前 11 時 30 頃予定しています。

4 会長・副会長の互選

○菊池文正 経営企画部長

それでは、次第の4の会長・副会長の互選に入らせて頂きます。審議会条例第4条第1項の規定により、審議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選により選任することになっています。また、第2項では、会長が会議の議長となることになっていますが、会長が決まるまでの間、事務局の私の方で会議を進行させて頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○各委員

はい。

○菊池文正 経営企画部長

ありがとうございます。それでは、会長と副会長の選出方法についてお諮りします。選出方法について御意見をうかがいます。どのようにしたらよろしいでしょうか。

○河野委員

事務局案が、ありましたらお願いします（他に「事務局一任」の声あり）。

○菊池文正 経営企画部長

ただ今、事務局案、一任という声がありました。それでは、事務局案を申し上げます。

○佐藤浩一 秘書・広報担当課長

それでは、事務局としましては、会長には臼井委員。副会長には荒田委員にお願いしたいと思えます。

○菊池文正 経営企画部長

皆さまにお諮りします。ただ今、事務局から提案いたしました、会長に臼井委員、副会長に荒田委員にお願いすることに御異議ございませんか。

○各委員

なし。

○菊池文正 経営企画部長

ありがとうございます。異議なしと認めまして、会長に臼井委員、副会長に荒田委員に決めました。それでは、会長は会議の議長になると定められていますので、会長に選任されました臼井委員は、議長席にご移動願います。よろしく願います。

5 会長あいさつ

○菊池文正 経営企画部長

この後、臼井会長に御挨拶を頂きまして、その後の進行についてよろしく願います。

○臼井悦男 会長

会長となりました、遠野市社会福祉協議会臼井悦男と申します。皆さんの御協力を頂きながら会長の役目を担って参りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

6 報告

○臼井悦男 会長

それでは、進めてさせて頂きます。規定によりまして、会長が会議の議長になるということですので、進行させて頂きます。

次第6の報告に入ります。(1)の平成26年度予算について、説明をお願いします。

○鈴木英呂 財政担当課長

(別添資料により説明、12分)

- ・平成26年度予算について(資料N01)
- ・もっと知りたい遠野の予算(冊子)

○臼井悦男 会長

ただ今、説明がありました事項について質問ありませんか。それでは質問等無しということでもよろしいですか。これから、何件か説明して頂きますが、お気づきの点はぜひ御発言頂き、そのことにより皆さんで理解するという形にしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それでは続いて(2)に入ります。総合計画実施計画の概要について、説明をお願いします。

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

(別添資料により説明、5分)

- ・遠野市総合計画実施計画(平成26、27年度)の概要について(資料N02)

○臼井悦男 会長

この件について、質問ありませんか。皆さんそれぞれ所属があり、それを代表する形で出席いただいているところですが、一人の市民としてお気づきの点も、ぜひお願いします。

それでは、(3)の市役所本庁舎の整備方針について、説明をお願いします。

○飛内雅之 まちづくり再生担当部長

(別添資料により説明、23分)

- ・市役所本庁舎の整備方針について(資料N03)

○臼井悦男 会長

(3)についてですが、意見、お尋ねしたいことは、ありませんか。それでは、先に進めさせていただきます。

(4)の2つの推進本部の取り組みについて、説明をお願いします。

○大里政純 農林畜産部長

(別添資料により説明、7分)

- ・六次産業化の推進について(資料N04-1)

○臼井悦男 会長

続いて、同じ項目ですので、子育てについて説明をお願いします。

○菊池幸市 子育て総合支援センター所長

(別添資料により説明、6分)

- ・子育てするなら遠野について(資料N04-2)

○臼井悦男 会長

2つの推進本部を続けて説明がありました。このことについて、質問等ありませんか。特にないようですので、次に進みます。

それでは、(5)遠野市新エネルギービジョンの策定について、説明をお願いします。

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

(別添資料により説明、5分)

- ・遠野市新エネルギービジョンの策定について(資料N05)

○臼井悦男 会長

最後になりましたけども、ここで何か確認したいことはありませんか。よろしいですか。

では、報告事項はここまでとし、協議事項にうつります。

7 協議

○臼井悦男 会長

総合計画策定方針の（案）について説明をしていただきますが、これは、これから我々が何をするかということに関わってきますので、ぜひ御発言を頂ければと思います。

それでは、説明願います。

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

（次第資料により説明、12分）

資料の訂正があります。6ページの④「希望・創造検討チーム」とありますが「未来・創造検討チーム」に訂正をお願いします。

また、策定にあたっては、策定の支援業務として業者への委託も考えています。

・遠野市総合計画策定方針（案）について

（総合計画審議会の役割、策定方針、策定体制、策定スケジュール）

○臼井悦男 会長

お気付きの点や御質問ありましたら、ご発言をお願いします。

○千葉和 委員

市民参加と言うスタイルは、非常に大事なことだと思います。前回も、ワーキング会議というものがあったと思いますが、これは分野別にテーマを決めて、市民と職員で意見交換会を行うということですが、これに関してはどのような形で募集をかける予定なのかをお聞きしたいと思います。

また、各種実施済みのアンケートの活用とありますが、現時点でどのようなアンケートを活用しようとしているのか、お分かりの範囲で教えて欲しいと思います。

あと、遠野市ホームページ、市政なんでも相談箱での意見聴取と言うことですが、前回の計画を立てるにあたって意見聴取を、どのくらいの意見があったのかを教えてくださいたいと思います。

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

一つ目のワーキング・グループですが、これは、担当課ごとにそれぞれの事業がありますので、関係ある部署、関係機関の人達に、その部署に集まっていただき、その担当課と担当機関と市民との小単位という形で、それぞれワーキング・グループを作っていただくこととなります。例えば、先ほど説明した六次産業や子育てなら、関係機関の人達に集まっていただき、そこで、それぞれの専門の職員の人達との意見交換を行うことを考えています。

二つ目のアンケートですが、昨年度は福祉関係のアンケートを行っていましたが、今年は、子育ての関係のアンケートも実施しています。それらのアンケートを、それぞれの部門だけではなく、総合計画に反映させるために、実施済みのアンケートをできるだけ活用していきたいと考えています。

三つ目の前回の相談箱の意見徴収ですけど、申し訳ありませんが、今資料を持ち合わせていませんので、次回にでも報告させて頂きたいと思います。

○千葉和 委員

ワーキング・グループの会議ですが、これに関しては、担当課が関係機関にということですが、担当課が把握してない団体等もあるかと思うのですが、公募とかは考えていますか。

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

それに関しましては、今後検討して参りたいと思います。前回の部分も含めて、それぞれを検証しながら、新たな部分で取り組んでいきたいと考えています。

○臼井悦男 会長

他にありませんか。

○佐々木國允 委員

すばらしい策定計画だと思います。近隣の市町村との連携について確認したいと思います。道路網が整備され生活環境が変わってきています。先ほど、報告があったように、予算の縮小の中で総合計画の確立とか推進、そして直ちに取り組む2つの最優先課題というものもありました。例えば、子どもを預けながら働くことも考えれば、市内の雇用だけではなく、近隣の働く場所も視野に当然入っていると思いますが、そういった全体的な事を考えれば、近隣の市町村との連携も必要だと思いますが、いかがでしょうか。

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

近隣の市町村に出向いている人達もかなりいますので、考えていかなければなりません。

また、内容は、まだしっかり決まっていますが、県南広域振興局では、県南局管内でまとまって何かできないかということでワーキング・グループなどを立ち上げることとなっていますので、いろいろ検討していければと思っています。

○臼井悦男 会長

他には、ありませんか。

資料についてうかがいますが、5ページの上の部分で網掛けの部分が、よく分からないので説明をお願いします。

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

申し訳ありません。資料が薄くて見づらくなっていました。今回策定する計画は、基本構想の平成28年度から37年度の部分と、基本計画の前期で平成28年度から平成32年度という部分になります。

○臼井悦男 会長

他にありませんか。

今回は、8月上旬に集まりがあるということですので、ここにいる皆さんが8月上旬までに何か考えてくることといたしますか、心がけてくることとか、次回のプランがありましたら、お話していただければと思います。

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

今回は、第1回ということで資料等を本日皆さんに提示した形になっていますが、次回からは、前もって皆さんのお手元にお届けしたいと思います。このようにやっていきたいという部分も提示しますので、事前に目を通していただいてから審議に臨んでいただければと考えております。よろしくお願いします。

○臼井悦男 会長

他にありませんか。いずれ、それぞれの所属のところでの思いをきちんと整理していただいて、必要な事項は、ここでどんどん整理していただくという会合にしていきたいと思っています。

○本田敏秋 遠野市長

協議の中で、皆さんから意見をいただきましたが、私の方から3つ程、補足をさせていただきます。

一つは、ワーキングの話がありました。私は、大変重要なポイントだと捉えています。答弁の中で、各課の方にワーキングは任せるということでしたが、やはり委員の皆さまから積極的な形での、こういうワーキングでの集中的に課題を整理しながら、それを解決するためにはどのようなプログラムがよいか、事務局できちんと整理、そして進行管理しますので、よろしくお願いします。各課に任せるのは、一番まずいやり方です。事務局できちんとコントロールする

ことにします。

それから、本庁舎の整備の問題については、私にも、直接、いろいろな意見が寄せられています。急ぎ過ぎているのではないかとの声が、集中的に聞こえてきました。今は、ほとんど無くなりましたが、説明責任が十分ではなかったのかなという意味で、私も反省をしています。先ほど、説明したとおり、平成23年に本庁舎中央館を失いながらも、1年間は無我夢中と言いますか、皆さんのお力を拝借しながら被災地と向き合い、官民一体となって取り組んできました。それが、一応落ち着いたということで、今日お見えの河野さんに座長をしていただき、市民懇話会で7回に渡り、様々な角度で、市民の皆さまとの中から意見集約をいただきました。そして、しがらみの無いという部分においては、有識者の方々から意見を聞いたという手順を、その都度、議会の方にもきめ細かく説明しています。議員協議会を通じまして、議会の方々にも全て情報を提示し、説明をしているのですが、市民の皆さまにきちんと伝わっていないのではないのかなと思われるふしもあります。この本庁舎プロジェクトでは、国の制度を活用し18億円もの財源が国から手当てされます。タイミングをきちんと踏まえ、遠野の将来を見据えた一つのプロジェクトに持つていくのは当然なことです。今日の資料の中からも委員の皆さんには、何かの形で話題になったり、あるいは会議となった時には、関係団体の皆さまにも、一つ丁寧な説明をいただければと思っています。

それから、最後は、審議会が開催される度に繰り返されていることですが、なぜ、事前に資料をいただけなかったのかという質問が委員の皆さまからあります。そのたびに、次回には対応しますと繰り返すばかりです。そのような意見があれば、あらかじめ資料を提供することは、我々の務めなわけでありますので、深刻に受け止めなければなりません。もちろん、事務局でも忙しいという部分がありますし、様々な課題を抱えているということもあります。しかし、3日前、4日前には、あらかじめ資料をお届けするというような丁寧さも必要です。何故、このようなやり取りが毎回繰り返されるのかとやりきれない思いから、このような発言をさせていただいたと思いますので、御了承いただければと思います。よろしくお願いします。

○臼井悦男 会長

市長からも発言がありましたので、これについては、このぐらいにさせて頂きたいと思いますが、がよろしいですか（「はい」との声あり）。

では、8のその他という項目がありますが、何かありますか。

8 その他

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

次回の開催は8月を予定しています。

資料は、事前にお渡ししますので、よろしくお願いします。

○臼井悦男 会長

資料のお話はありましたし、これだけのメンバーが集まっていたいただいており、今後は、持ち時間の半分くらいは、話し合いができるような時間設定をしていただきたいと思います。

○佐藤浩一 企画・秘書広報担当課長

わかりました。

○臼井悦男 会長

それでは、議長の役目は終わらせていただきまして、進行はお返しします。

9 閉会

○菊池文正 経営企画部長

臼井会長、進行ありがとうございました。以上をもちまして、平成26年度第1回遠野市総合計画審議会を閉会とします。ありがとうございました。